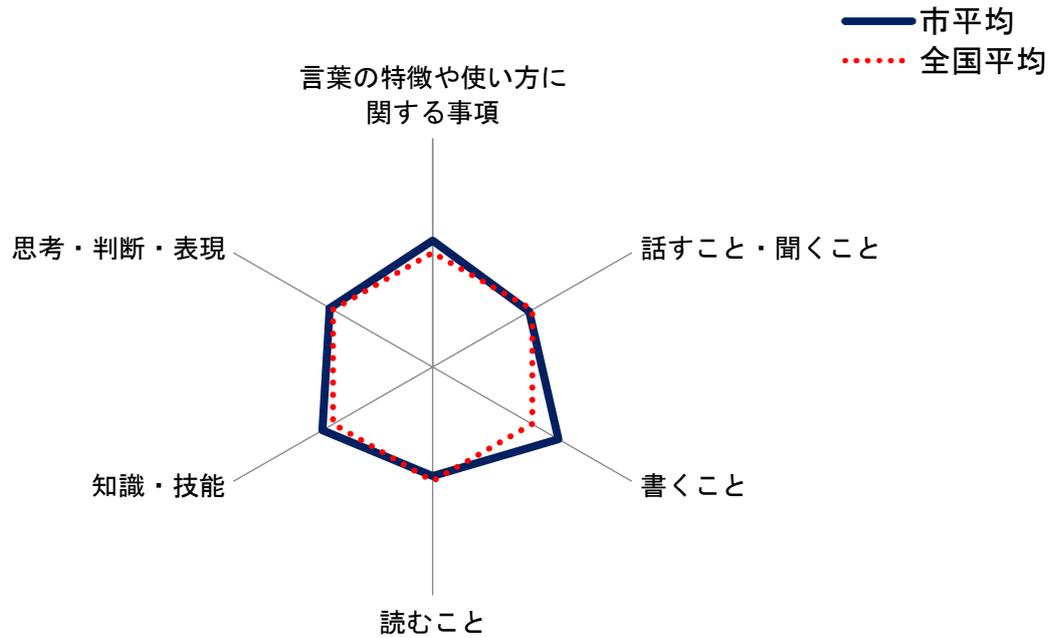
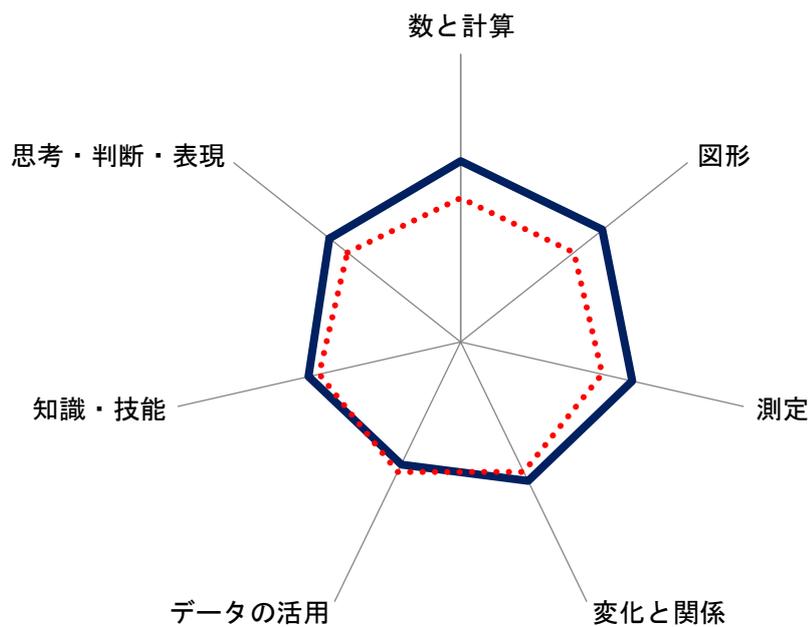


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

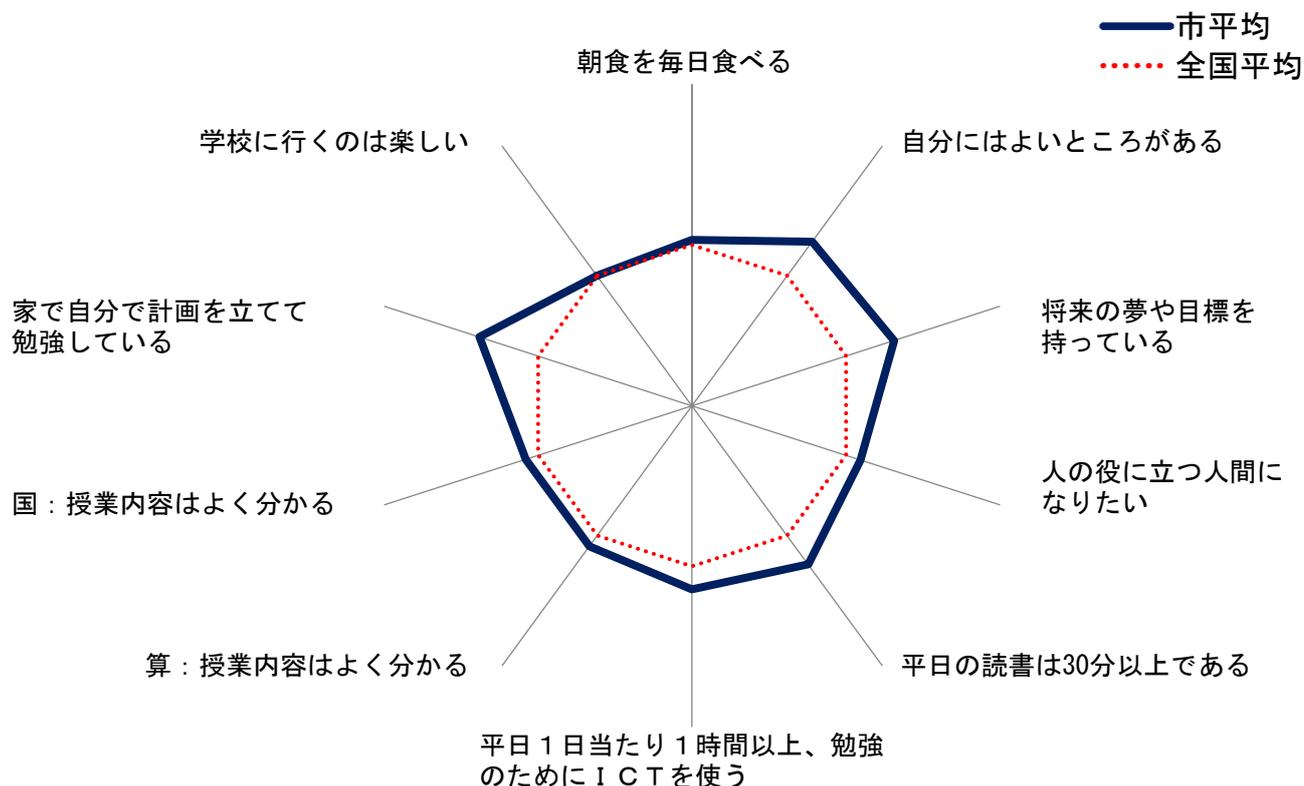
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数ともに多くの項目が全国平均を上回っており、特に国語の「書くこと」、算数の「数と計算」「図形」の項目の結果は良好である。一方、国語の「読むこと」、算数の「データの活用」などの項目は全国平均をわずかに下回っている。今後、更なる学力の定着と向上に向けて、児童一人一人の結果を詳細に分析し、課題を踏まえた指導を行うことで、知識及び技能の確実な定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、取り上げている全ての項目において全国平均を上回っている。特に「家で自分で計画を立てて勉強している」「将来の夢や目標をもっている」の項目が全国平均を大きく上回り、前回の調査から改善されている。今後も学校、家庭、地域がより一層連携するとともに、小・中学校の連携を密にした取組を一層深め、主体性や自己肯定感を育む取組を継続していくことが望まれる。